

I. 概 観

カナリア諸島は、スペイン本土より南西へ約 1,100km、アフリカのモロッコ及び西サハラの内約 100～500km の大西洋にあり、飛行機でマドリッドから約 2 時間半、バルセロナからは 3 時間半程。同諸島の標準時間は、スペイン本土より 1 時間遅く、グリニッジ標準時と同じである。

カナリア諸島は全 7 島で、東側のグランカナリア島、ランサローテ島、フェルテVENTURAA島の 3 島そして 2018 年 1 月にカナリア諸島の 8 番目の有人の島として認められたラグラシオサ島を加えた 4 島から成るラスパルマス県と、西側のテネリフェ島、ラパルマ島、エルイエロ島、ラゴメラ島の 4 島からなるサンタクルスデテネリフェ県に分かれており、7 島でスペインの 1 自治州を成している。

日本ではスペイン領カナリア諸島と表されることも多いが、アンダルシアやバレンシアなどと同様に、スペインの 1 地方である。

ラスパルマスデグランカナリア市は、人口約 37 万 9 千人(以下人口は 2021 年 1 月現在)、ラスパルマス県の県都で、諸島最大の都市であり、4 年の任期毎にサンタクルスデテネリフェ市と交互に自治州府(PRESIDENCIA)が設置される。

同市のあるグランカナリア島は人口約 85 万 3 千人、面積は約 1,560 km²、周囲約 240km のほぼ円形を成しており、緯度は北緯 28 度と、日本の奄美大島とほぼ同緯度に位置している。また、その景観の多様性等から「ミニチュアの大陸」とよばれている。

II. 気 候

気候は亜熱帯性気候に属し、乾燥した気候であり一年を通じ温暖であるが、「ミニチュアの大陸」と呼ばれるとおり、島の南部と北部、海岸地帯と内陸部では気温や降水量にも差がある。また、アフリカ大陸に近いので、年に数回(春先等に多い)サハラ砂漠の砂塵を含んだシロッコ(SIROCO)、カナリアではカリマ(CALIMA)と呼ばれる熱風が吹くことがあるが、全般的には暖房や冷房設備を必要としない程 1 年中過ごしやすい気候である。

III. 言 語

スペイン語で、リゾートエリア以外ではホテルや高級商店を除き、英語その他の外国語はあまり通じない。

IV. 通 貨

現地通貨はユーロ。なお、クレジットカードを使用する場合は身分証明書の提示を求められることがある。

V. 治 安

治安はマドリッドなどの大都市と比べると良好で、強盗殺人等の凶悪な犯罪は少ないが、特に観光

客が集まる海岸地域、繁華街、港周辺やその付近の公園等ではスリやひったくり、置き引き等には注意が必要である。

VI. 交通機関

市内で利用できる交通機関はバスとタクシーである。

タクシーの市内料金は、初乗りは 1.032km まで 2.40 ユーロ(夜間 22:00-06:00、祝日及び 12 月 24、31 日と 1 月 5 日は 3.00 ユーロ)、また 12 月 24、31 日と 1 月 5 日の夜から翌日までは 5、60 ユーロ増しの特別料金となる。走行距離 1 キロメートル毎に 0.70 ユーロ(夜間は 0.75 ユーロ)、港への出入りには 0.70 ユーロ、トランクに入れる荷物がある場合は 0.35 ユーロ、配車してもらう場合は 0.50 ユーロが加算され、待ち時間料金は 1 時間 14.50 ユーロ(夜間は 15.00 ユーロ)である。市内から空港までは 35 ユーロ程である。

当地でグアグアス(GUAGUAS)と呼ばれている市バスは、路線も多く頻繁に出ており、料金は 1.40 ユーロ均一で、1 時間半以内であれば 1 回の乗換は無料である。非接触型のプリペイドカード(カード代 1.5 ユーロ、8.50~50 ユーロのチャージ可能)は、乗車料金が 1 回 0.85 ユーロと割引となる。

市外バスのグローバル(GLOBAL)は、110 以上の路線で全島を網羅している。サンタカタリナ公園及びトリアナ地区サンテルモ公園隣のバスターミナルより発着しており、島南部の観光地までの料金は、片道 5.60~9.00 ユーロ程度、空港迄は、サンタカタリナ公園から 2.95 ユーロ、サンテルモ公園から 2.30 ユーロである。

両バス共前乗りで、プリペイドカードの場合は運転手席脇の機械へかざす。車内アナウンスは無いので、降車地に注意が必要である。両バスのプリペイドカードはバスターミナルやサンタカタリナ公園他、市内数カ所にある両バスのオフィス、または雑貨屋、宝くじ売り場などで販売しており、ウェブサイトからもチャージは可能である。市街バスのグローバルでは、直接銀行のデビットカードやクレジットカードでも支払いが可能である。

この他、2018 年 4 月に市運営の自転車シェアリング(Sitycleta)がリニューアルし、20 台の電気自転車、及び 2 台の障害者用自転車を含む GPS 付きの約 400 台が市内約 40 ヶ所のポートで自由に借り入れ、また返却が可能となった。サービスを利用するには、スマートフォンのアプリ(Sitycleta)をダウンロードするか、ウェブサイト www.sitycleta.com から、または 010 に電話して事前に登録する必要がある。使用料は年 40€、月 20€、または週 15€ で何度でも利用出来る。利用する毎に支払う場合は、1 回 30 分の利用で自転車が 1.5€、電気自転車が 2.5€。1 回の利用時間は 30 分迄で、その後さらに利用したい場合は 15 分待ってからまた借り入れる。そのまま延長して使用した場合は、2 時間までの利用では 30 分につき 0.5€、2 時間以上の利用では 30 分につき 0.75€ を利用後に支払う。家族割引が有り、2 人では年額 72€、3 人では 102€。支払い方法は、市バスのプリペイドカードをポートのパネルまたは自転車の装置にかざすか、または専用アプリからカードで支払う。スマートフォンのアプリ及びウェブサイトでは各ポートの空き車輛の確認も可能。

VII. 文化・芸術

グランカナリア島の代表的な芸術家として、ホセ・ルハン・ペレス(1756-1815、カナリアを代表するバロック彫刻家で建築家。ラスパルマスのカテドラルにある「悲嘆の聖母」が有名)や、ネストル・マルティン・フェルナンド・デ・ラトーレ(1887-1938、象徴派、アール・ヌーヴォー、ネオカナリオ派の画家。市内ネストル美術館でその主な作品を展示)が挙げられる。また、スペインでセルバンテスに次ぎ著名な作家・劇作家で、昔のスペイン通貨 1000 ペセタ紙幣に肖像が使用されていた、ベニート・ペレス・ガルドス (1843-1920、ルイス・ブニエール監督、カトリーヌ・ドヌーブ主演の映画「哀しみのトリスターナ」等の原作者)や、テノール歌手アルフレード・クラウス(1927-1999)等がいる。

カナリアの民謡には、ティンプレ(TIMPLE)というカナリア特有の楽器が使われるが、これは特有の音色を持つ 4〜5 弦の小型のギターのような弦楽器で、グランカナリア島でも手作りされている。民族舞踊の衣装も独特なスタイルを持っており、男性は髭のついた短いズボンと黒いベストを着用し、女性はカナリア刺繍の付いたブラウスやエプロン、マンティージャをつけ、小さな黒のフェルト製の帽子をかぶる。市内メサイロペス地区のプラサ・デ・エスパーニャでは毎週土曜日、シウダ・ハルディン地区のプエブロ・カナリオでは日曜日、午前 11:00 よりカナリア民謡のグループによる音楽と舞踊のデモンストレーションが行われている。

伝統スポーツの中で特記すべきは、ルチャ・カナリア(LUCHA CANARIA)と言う相撲に似た格闘技である。丸い土俵の中で行われ、一方の選手の足の裏以外が土に触れた時に決着が付くのは日本の相撲と同じであるが、競技は両者が組んだところから始まり、着衣(半袖シャツと半ズボン)で行われる。

グランカナリア島のサッカーチーム UD ラスパルマスは、2017-2018 年シーズン以降リーガエスパニョーラの 2 部リーグに降格したままであるが、やはりサッカーは一番の人気スポーツである。グランカナリア島出身選手には 2010 年のワールドカップ南アフリカ大会で優勝したスペイン代表で、マンチェスターFC で活躍したダビド・シルバ選手等がいる。この他、ヨットやウィンドサーフィン等のマリンスポーツも盛んで、多数の世界チャンピオンを輩出している。

VIII. 食事

食習慣はスペイン本土と同様であり、日本とは異なり昼食や夕食の開始時間が遅い。

当地にはスペイン料理の他、日本料理を含め、各国料理のレストランがあるが、軽食を出すカフェテリアやバルを除き、昼は 13:00〜16:00 位、夜は 20:00〜23:00 位と、スペインの食事時間のみ開ける店が多い。近年は、閉めずに営業を続けるレストランも増えてきているが、日本人の食事の時間帯には未だ開店前の店が多いので注意。

カナリアの伝統的な食品として、カナリアの先住民が主食にしていたゴフィオ(GOFIO)がある。これは、日本でははったい粉、又は麦焦がしなどと呼ばれる、煎ったトウモロコシや小麦を粉にした物で、練って丸めたり、つぶしたバナナ等とまぜて料理に付け合せたり、またはスープで練って食する他、お菓子やデザートにも使われる。

また、当地にはモホ(MOJO)という赤と緑の 2 種類の薬味ソースが有り、いろいろな料理にかけて食

する。赤いモホ・ロホ(MOJO ROJO)はにんにく、クミンシード、唐辛子をつぶし、パプリカ、酢、オリーブ油を加えた物(トマト、またはアーモンドを入れることもある)、緑のモホ・ベルデ(MOJO VERDE) はパプリカを入れず、コリアンダーかイタリアンパセリをニンニク、クミンシードとともにつぶして作り(アボカドやアーモンドを入れることもある)、魚介類などにかける。

(カナリア料理)

1. パパス・アルガーダス・コン・モホ (PAPAS ARRUGADAS CON MOJO)

小粒のジャガイモを、皮付きのまま多量の粗塩を入れてゆで、モホ(赤の場合が多い)をかけて食する。ワイン、ビール等のつまみとしてよく食べられている。

2. パタ・デ・セルド (PATA DE CERDO)

豚の足の丸焼き。薄くスライスして、つまみやサンドイッチの具にする。

3. プチェーロ・カナリオ (PUCHERO CANARIO)

各種野菜と肉、ガルバンソ豆(ひよこ豆)、腸詰め類等をスープで煮て、スープと具を分けて食する。好みでオリーブオイル・酢をかける。

4. ロパビエハ(ROPA VIEJA)

古い洋服と言う意味のこの料理は、前述のプチェーロなどで残った肉を使いまわしたことから来ている。肉、ジャガイモ、ガルバンソを、ニンニク、たまねぎ、トマト、パプリカや香辛料と煮た料理。肉は使わず、タコ(PULPO)で同様に作るロパビエハもある。

この他に豚肉、ウサギやマグロなどをアドボ(ADOBO)と呼ばれる薬味ダレに浸けてから揚げた物や、野菜たっぷりのスープであるポタヘ(POTAJE)、ガルバンソ豆と肉、ジャガイモにパスタを入れて煮込んだランチョ・カナリオ(RANCHO CANARIO)もポピュラーである。

山羊、羊又は牛の乳から作られたカナリアチーズ(QUESO CANARIO)が各種あり、食前のつまみ等として親しまれている。フレッシュチーズ (QUESO TIERNO)、パプリカやゴフィオ等をまぶしたりなどして熟成させたチーズ(QUESO CURADO)、スモークチーズ(QUESO AHUMADO)など多種あるが、島北西部のサンタ・マリア・デ・ギア(SANTA MARIA DE GUIA)近辺で作られるケーソ・デ・フロール(QUESO DE FLOR)は、凝乳に野アザミの花を使った珍しいチーズである。

グランカナリア島特有の腸詰として、テロール(TEROR)のペースト状のチョリソ(CHORIZO)や、松の実、アーモンド、シナモン入りの甘いブラッドソーセージであるモルシージャ(MORCILLA)がある。

Ⅸ. 買物・土産

1. 商店の営業日・営業時間

一般の店舗

月～金曜日 9:00～13:30 頃、16:00～20:00

土曜日 9:00～13:30

(大型スーパーは 22 時頃まで営業している所が多い。)

デパート・ショッピングモール

月～土曜日 10:00～22:00

ショッピングセンターのエルムエジェ及びラスアレナス、市内メサイロペス地区のデパート エルコルティンGRESは、10 月から 4 月までのクルーズ船入港シーズンは日曜日にも営業、またラスカンテラス地区、メサイロペス地区の商店では日曜日も休まず営業しているところもある。

市内トリアナ地区商店街は、毎月第 1 日曜日は営業しており、その日は各種イベントが開催され、近くのコロンブスの家博物館の入場料も無料となる。

なお、毎年 1～2 月及び 7～8 月に一斉にバーゲンセールが開かれる。

2. 土産

グランカナリア島の土産物としては、島産のラム酒(ROn)や蜂蜜入りラム酒(ROn MIEL)、リキュール類、ヨーロッパで唯一島北西部のアガエテ(AGAETE)で栽培されているコーヒー、モホソース、又は先住民が使ったピンタデーラ(PINTADERA)と呼ばれるスタンプの伝統的な幾何学模様を生かした民芸品や、カナリア建築の特徴である木彫細工が施された木箱、アロエ製品等が代表的である。

かなり値は張るが、カナリア民謡に欠かせない手作りの楽器ティンブレ、カラードカナリオ(CALADO CANARIO)と呼ばれるドロンワーク刺繍、柄の部分の象嵌細工がきれいなカナリアナイフ、またはその技術を使った筆記具やキーホルダー等も良い。これらの民芸品は市内にある民芸・土産物店(La Molina や Kactus 等)及びデパートでも売られている。

グランカナリア島議会が島の民芸品を保護するため、設立した協会である FEDAC(<https://fedac.org/actividades/>)の店舗が、市内トリアナ地区(Domingo J. Navarro、7)、及び島南部のマスパロマス灯台(Edificio Falo de Maspalomas)にあり、伝統的民芸品の他、現代風にアレンジしたセンスのよい小物を販売している。

営業時間 ラスパルマス店： 月～金 10:30～13:00、16:30～20:00～17:00

マスパロマス店： 月～日 10:30～17:00

この他、各博物館の売店では展示物をモチーフにしたアクセサリー、文具、置物など、土産に良いしゃれた小物を販売している。

X. 名所案内

1. ラスパルマス市内

(1) ベゲタ地区 (BARRIO DE VEGUETA)

かつての島の中心地で、いまだ古都の面影を残している旧市街歴史地区である。

近年、おしゃれなバルやレストランが増えている。月曜～土曜 12 時から旧市街を歩くツアーがあ

り、ガイドが約 1 時間スペイン語と英語で案内する。料金は 12 ヶ月以上 8 ユーロで、出発 5 分前までにプラサ・デ・ラナス(PLAZA DE RANAS)に集合して出発。

(イ)コロンブスの家博物館 (CASA DE COLON) C/Colón, 1 (TEL:928-312373)

(<http://www.casadecolon.com/>)

コロンブス(CRISTOBAL COLON)、並びにカナリアの歴史と関連する南米の展示品が収集されているほか、絵画は 15～16 世紀のカナリア諸島出身の画家の作品や、プラド美術館から貸し出された作品等が展示されている。

コロンブスが 1492 年の第 1 回目の航海の折に来島した際に、台風で破損した船の修理の協力を求めた、グランカナリア島知事の私邸であったものを博物館として改装したものであり、カナリア建築の代表的モデルとしても、一見の価値がある。

休館日は 1 月 1、6 日、5 月 1 日、12 月 24、25、31 日。日曜及び複数の祝日は入場無料。

開館時間 月～土 10:00～18:00

日・祝 10:00～15:00

(ロ)大聖堂 (CATEDRAL DE SANTA ANA) Plaza de Santa Ana

1497 年、カトリック両王の命により、セビリアの建築家ディエゴ・アロンソ・デ・モンタデによって着工が開始されたが、1570 年に中断された。その後、1798 年にカナリアの生んだ著名な彫刻家ルハン・ペレスによって工事が再開されたものの、何度か中断を経て現在に至っている。

建築様式は、正面はネオクラシック様式、内部は後期ゴシック様式で、主祭壇の他 12 の小礼拝堂があり、宗教美術館が併設されている。優良のエレベーターで塔の上まで昇れば旧市街が一望できる。

(ハ)カナリア博物館 (MUSEO CANARIO) C/Doctor Verneau, 2 (TEL:928-336800)

(<http://www.elmuseocanario.com>)

1879 年に設立され、先住民に関する数多くの資料が展示されている。現在の建物は、設立メンバーの一人であったグレゴリオ・チル医師の遺言により、その財産と共に博物館のため市に寄付された医師の私邸である。

陶器類や、ピンタデーラと呼ばれる器や皮に模様を描くスタンプ、さらに先住民の頭蓋骨やミイラなどが数多く展示されている。その他、鉱石類、原住民が使用した道具類、武器類、またこの町に初めて備え付けられた印刷機等がある。

休館日は 1 月 1 日及び 12 月 25 日のみ。

開館時間 月～金 10:00～20:00

土・日・祝 10:00～14:00

(ニ)セントロ・アトランティコ現代美術館 (CAAM : CENTRO ATLANTICO DE ARTE MODERNO) C/Los Balcones, 11 (TEL:928-311800)

(<http://www.caam.net/es/expos.php>)

大聖堂の裏手、コロンブスの家博物館のすぐ近くにある現代美術館。
常設展示の他、各企画展示や展示室のリースも行っている。約 6 万冊の美術書を持つ図書館が有り、蔵書も貸し出している。

休館日は月曜、祝日、12 月 24、31 日。

開館時間 火～土 10:00～21:00

日 10:00～14:00

(2) トリアナ地区 (ZONA TRIANA)

ベゲタ地区に隣接した旧市街にある商店街でブランド店やブティック、レストラン、カフェテリアやバルが多い。領事事務所のある歩行者専用のトリアナ通りでは、毎月第 1 日曜日に限り、商店が日曜も営業している。同時に近辺の博物館や美術館も開館している他、トリアナ通りでは各種イベントも開催している。

(イ) ペレスガルドス劇場 (TEATRO PEREZ GALDOS) C/Plaza Stagno, 1

(TEL:928-433334) (<https://teatroperezgaldos.es/>)

スペインの偉大な作家の一人である、ベニート・ペレス・ガルドス(1843～1920 年)の名を冠した劇場。トリアナ地区とベゲタ地区の境目に位置する。

1890 年、この場所に新劇場(TEATRO NUEVO)として建てられ、1902 年に上演された「ELECTRA」の大成功により、その作者であり当市出身の作家の名前が付けられた。1918 年火災により焼失したため、現在の建物は 1928 年に再建され、2004 年から修復と増築の工事を行い 2007 年に新装オープンしたものである。建物はアール・ヌーヴォー様式で、壁にはネストルマルティン・フェルナンド・デ・ラトーレの絵が描かれている。

(3) ラスパルマス港

1478 年 6 月 24 日、コロンブスが 3 隻のカラベル船で来訪した港であり、アメリカ大陸発見の寄港地として有名である。古くから日本の漁船の海外基地になっており、現在は修理やメンテナンスのため石油掘削船も多く入港している。

サンタカタリナ埠頭は、スペイン本土やカナリア諸島の他島へ向かうフェリーや、クイーン・エリザベスやクイーン・メリーを始め豪華客船も毎年 500 隻程寄港しており、付近には下記の科学技術博物館や水族館の他、カーニバルや野外コンサートなどが開かれるサンタカタリナ公園、カジノ、ショッピングモール等がある。

(イ) エルデル科学技術博物館 (MUSEO ELDER DE LA CIENCIA Y LA TECNOLOGIA) Parque

Santa Catalina (TEL:828-011828) (<http://www.museoelder.org>)

総面積 7,000 m²に、内部に入れる実物の戦闘機や旅客機、ロボットアームコースター、VR、プラネタリウム、3D 映画館等があり、科学と人類の進歩をテーマとした多数の展示や体験が楽しめるほか、各種体験学習の教室なども行っている。また、指導員がついて体験学習をしながらの子供の誕生パーティーを開くことが出来る。(注:2022 年 5 月現在、ロボットアームコースターは休止中。)

休館日は 1 月 1、6 日、カーニバルの祝日、5 月 1 日、12 月 24、25、31 日。

開館時間 火～金 10:00～20:00、土・日 10:00～14:30 15:30～20:00

(ロ) ポエマ・デルマル水族館 (ACUARIO POEMA DEL MAR) Muelle Sanapú

(TEL:928-010350) (<http://poema-del-mar.com/>)

2018 年 1 月に開園した総面積 12、700 m²の水族館。世界最大級の水量 5500 トン、36m×7m の曲線形アクリルパネルの大水槽がある。レストラン、カフェテリア有り。

開館時間 無休 9:30～17:30

(4) ラスカンテラス海岸 (PLAYA DE LAS CANTERAS)

約 3 キロにわたるビーチに沿って遊歩道が設置されており、多くのバルやレストランのテラスがある。クリスマス時期には、砂浜にキリストの降誕にまつわる砂の彫刻も作られ、一年を通して多くの観光客や市民で賑わう所である。

この海岸に平行して、ラバーラ・グランデと呼ばれる岩礁が横たわっており、この岩礁で波が遮られることにより、海岸自体が一つの大きな自然プールとなっている。岩礁から採石された岩は、かつてラスパルマス市の建築材として大いに役立った(ラスカンテラスとは「石切場」の意)。

(イ) アルフレード・クラウス音楽堂 (AUDITORIO ALFREDO KRAUS) Principe de Asturias/s/n (TEL:928-491770) (<https://auditorio-alfredokraus.com/>)

当地出身のテノール歌手アルフレード・クラウス(1927～1999)に敬意を表し名前が付けられ、1997 年 12 月に落成した。大小2つのコンサートホールがある。

グランカナリア交響楽団の本拠地であり、クラシック音楽を初め多種のコンサートや国際会議などが開かれている。

(5) ヨットハーバー (MUELLE DEPORTIVO)

約 1,400 隻のヨットが碇泊可能なヨットハーバー。

世界各国から約 300 隻のヨットが参加して、毎年 11 月下旬に開催される ARC 大西洋横断ラリーの出港地である。

レストランやパブ等の飲食店も有り、週末の夜など賑わう。

(イ) スキューバダイビングセンター (BUCEO CANARIAS)

(TEL:928 232085) (<http://www.buceocanarias.com/index.php>)

初心者から上級者向けのクラスの他、日帰り、遠征、ナイトダイビング等各種体験メニューがあり、海外遠征旅行なども企画している。オーダーメイドメニューも可。

ショップ、ロッカー、ウェットスーツや器材のレンタル有り。

(6) プエブロ・カナリオ (PUEBLO CANARIO)

シウダ・ハルディン地区のパルケ・ドラマ(PARQUE DORAMA)の一角にあり、島で最も歴史のある高級ホテルであるホテル・サンタ・カタリナに隣接する芸術広場。毎週日曜日昼にパティオで行われていた民族舞踊は、コロナウイルス流行のため現在は中止されている。また、数年前から改修工事が行われており、レストランの改修は終了し営業を開始しているが、美術館や教会の工事は未だ

開始されていない。

(イ)ネストル美術館 (MUSEO NESTOR) ※現在休館中

(TEL:928-245135) (<http://www.laspalmasgc.es/mnestor/>)

プエブロ・カナリオのなかにある、当島出身の画家ネストル・デ・ラトーレ(1887～1938)の美術館。

「SANTUARIO DE LA POEMA DEL MAR」や「EL POEMA DE LA TIERRA」他、島の風物を主題とした作品が多数展示されている。老朽化のため、改修工事を行う予定で現在美術館は休館している。

2. テルデ市、ヒロシマ・ナガサキ広場 (PLAZA HIROSHIMA Y NAGASAKI、TELDE)

ラスパルマス市から南へ車で 15 分程の飛行場の近くに、島内でラスパルマスデグランカナリア市に次ぐ人口約 10 万 3 千人のテルデ市がある。

1982 年のスペインの NATO 加盟に異議を唱え、市は非核都市を宣言、1996 年 1 月、市の中心部に近い一角(Manuel Alvarez 通り と José Arencibia Peña 通りの角)に、ヒロシマ・ナガサキ広場と名付けられた小さな公園が造られ、戦争放棄を定めた日本国憲法第九条のスペイン語訳が記された、タイルの「モザイクの記念碑」(MOSAICO CONMEMORATIVO)が設置された。また今年、市内の武術家によりサンファン公園内に小さな日本風の庭が作られた。

3. 島北部及び中央部の観光地

(1)ガルダル (GALDAR)

先住民の君主グアナルテメの居住地として、グランカナリアの歴史上重要な町である。

この町に建てられた教会の様式は 18 世紀のエドワルド建築期のもので、新古典主義的要素を多く含んでおり、著名な彫刻家であるルハン・ペレスの聖母像や 1912 年製作の 4,700 本のパイプを持つパイプオルガンがある。

人口は約 2 万 4 千人。

(イ)クエバ・ピンターダ (CUEVA PINTADA) C/Audiencia, 2 Galdar (TEL:928-895489)

(<http://www.cuevapintada.com>)

ガルダルの中心部にある考古学パーク博物館。先住民が儀式を行ったとされる、壁に幾何学模様が描かれている人工の洞窟と 50 軒以上あった集落の一部の跡が整備され、一般に公開されている。

保存のため 1 日の入場者数を制限しているので、チケットは web サイトで事前に購入することをお勧めする。

見学の所要時間はガイド(西、英、仏、独語)付で約 1 時間半、

休館日は、毎週月曜日及び 1 月 1、5、6 日、5 月 1 日、12 月 24、25、31 日

開館時間 10 月～5 月 火～土 10:00～18:00(入場は 16:30 迄)

日・祝 11:00～18:00(入場は 16:30 迄)
6 月～9 月 火～土 10:30～19:30(入場は 18:00 迄)
日・祝 11:00～19:00(入場は 17:30 迄)

(2)セノビオ・デ・バレロン (CENOBIO DE VALERON) Cuesta de Silva s/n

(http://www.arqueologiacanaria.com/Arqueologia_Canaria/Cenobio_de_Valeron.html)

サンタ・マリア・デ・ギア郊外の山にある先住民の洞窟群。穀物の貯蔵庫等として使われていた 300 以上の洞窟が蜂の巣状に残っている。

グループではガイドを予約(TEL:618-607896)できる。

開館時間 10 月～3 月 火～土 10:00～17:00

6 月～9 月 火～土 10:00～18:00

開園時間外に訪問したい場合も電話で相談可能。

(3)クルス・デ・テヘダ (CRUZ DE TEJEDA)

海拔 1、560m に有る、グランカナリア島で最も標高の高い集落。ラスパルマス市内より車で 1 時間半ほどの所にあり、ここは直径 50km の円形状をなすグランカナリア島の中心部にあたり、雄大な景色を眺めることが出来る。最近、日本人旅行者にも人気のある国営のホテル、パラドルを中心に、レストランや土産物店があり、民族衣装を着たグループによるカナリア舞踊が行われることもある。

まわりの山々には「聖なる岩」とされているものが多数あり、その代表的なものとして 70 メートル以上もある玄武岩の一本柱で、原住民が崇拝していた「ロケ・ヌーブロ」がある。

スペインの最も美しい村々(Los pueblos más bonitos de España)の一つに、グランカナリア島から唯一選ばれている人口約 1,900 人のテヘダ(TEJEDA)では、桜によく似たアーモンドの花の祭りが、毎年 2 月アーモンドの開花時期に合わせて開催され、多くの観光客が春の訪れを祝う。

(イ)パラドル (PARADOR NACIONAL DE CRUZ DE TEJEDA) (TEL:928-012500)

(<https://www.parador.es/es/paradores/parador-de-cruz-de-tejeda>)

スパ施設、スポーツジム付きの温水プール、カナリア料理のレストランやバー、カフェテリアが有る国営ホテル。標高 1500m の静かな山の中にあり眺めがよく、インターネットのサイト「トリップアドバイザー」のトラベラーズチョイスで、パラドル部門ランキング第 1 位を受賞したこともある。

1937 年に宿屋として建設され、1983 年より約四半世紀にわたり閉鎖されていたが、5 年をかけた改修の後、2009 年 2 月に新装オープンしたが、2017 年 9 月の山火事の被害により閉鎖し 1 年を掛けて改修工事を行い、2018 年秋に再オープンした。ペット可。

(4)リスコ・カイドと聖なる山々 (RISCO CAIDO Y LAS MONTAÑAS SAGRADAS DE GRAN CANARIA)

先住民の遺跡である島北西部の約 100m の断崖に掘られた洞窟群と、高さ 80m のロケ・ヌーブ

ロ(ROQUE NUBLLO)やベンタイガ(BENTAYGA)等の大岩を含む聖なる山々が、文化的景観として 2019 年に世界遺産に登録された。倉庫等として使われていた 21 の洞窟の中 2 つは天体観測や宗教行事に使用されたと考えられている。

(イ)リスコ・カイドと聖なる山々案内センター(CENTRO DE INTERPRETACION DE RISCO CAIDO Y LAS MONTAÑAS SAGRADAS DE GRAN CANARIA)

Camino de la Cilla, Artenara (TEL: 649-507746)

(<https://riscocaido.grancanaria.com/es/centro-de-interpretacion-de-risco-caido>)

開館時間: 10:00~17:00 無休。

電話またはメール(centrointerpretacionriscocaido@gmail.com)での予約が必要。

(5)テロール (TEROR)

1979 年、大聖堂、司教館、旧市役所を含む旧市街が国定歴史芸術地域に指定された。

15 世紀、1 本の松の木(PINO)の下に聖母マリアが現われ、その場所にヌエストラ・セニョーラ・デルピーノ大聖堂(BASILICA DE NUESTRA SEÑORA DEL PINO)が建てられたと言い伝えられており、祀られている聖母ピーノ(VIRGEN DEL PINO)は、グランカナリア島の守護聖母として島民の信仰を集めている。

毎年 9 月の聖ピノの祭りには、島中から人が集まり、多くの人がラスパルマス市内から 20km の道のりを徒歩で参拝する。

毎週日曜 9 時~15 時、200 年の歴史を持つ青空市場が開かれ、民芸品を始め、特産の菓子、チーズ、ソーセージや衣類等が約 140 軒の出店で販売される。

人口は約1万3千人。

(6)アルーカス (ARUCAS)

ラスパルマス市より約 12km 離れたバナナ畑の多い地域にある。

この町で産する石で建てられた、60m の塔を持つ美しいネオゴシックのサン・フアン・パウティスタ教会(IGLESIA DE SAN JUAN BAUTISTA)がある。

人口約 3 万 8 千人。カナリア特産のラム酒(RON)製造の町として有名である。

(イ)アレウカス・ラム酒工場 (FABRICA DE RON AREHUCAS) C/Era de San Pedro,2

Arucas(TEL: 928-624900) (<https://arehucas.es/en/visit-us/>)

1884 年創業のラム酒工場、1885 年スペイン王家御用達の指定を受ける。

ラムの他、リキュール類も製造。スペイン本土のほかアメリカ、中国にも輸出している。醸造所は見学可能。

開館時間: 9:00~14:00

休業: 土・日・祝

(7)バンダマのカルデラ (CALDERA DE BANDAMA)

ラスパルマス市より車で 20 分程の山バンダマにある、噴火でできた直径 800m 深さ 200m のカルデラで、眺めがとてもよい。

この一帯はブドウ畑が多く複数のワイン醸造所があり、また近くには、スペインで最も古い歴史を持つゴルフクラブ(REAL CLUB DE GOLF)がある。

4. 島南部リゾートエリア

ラスパルマス市より車で1時間ほど南へ行くと、海岸線に沿って数十 km にわたりサンアグスティン(SAN AGUSTIN:ラスパルマス市より 50Km)、プラヤ・デル・イングレス(PLAYA DEL INGLES:同 53Km)、マスパロマス(MASPALOMAS : 同 60Km)、プエルト・リコ(PUERTO RICO : 同 70Km)、プエルト・デ・モガン(PUERTO DE MOGAN:同 75Km)といったリゾートホテルが建ち並び観光地が続く。

この地域は、ヨーロッパ最大級のリゾート地として知られ、特にヨーロッパ本土の冬にあたる観光シーズンの 10 月～3 月は各国からの観光客で賑わう。

スペインでは同性の結婚が認められており、特に当地はセクシュアルマイノリティーに対し寛容で、ゲイカップル用のリゾートホテル等もあるため、国外からも多くの同性のカップルが、バカンスや毎年マスパロマスで開催されているプライド・パレード等に訪れている。

マスパロマスには海岸に沿って約 6km にわたる広大な砂丘があり、その景色は壮観で観光名所として特に有名である。また、周辺には多数の観光施設がある。

(1)パルミートス・パーク(PARMITOS PARK) Barranco de los Palmitos, s/n

(TEL: 928/797070) (<https://www.palmitospark.es/zoo/>)

鳥類を中心とした動物園。コモドドラゴンやメガネカイマン、イルカ、ミーアキャットなどの動物もあり、また、アクアリウム、蝶や蘭の温室もある。

新型コロナの流行状況によっては、開園時間の変更、又は休園日を設ける可能性あり。

開園:10:00～17:00、無休。

(2)ポソ・イスキエルド (POZO IZQUIERDO)

空港から南に 10km ほどのところにある海岸。ウィンドサーフィンのワールドカップが毎年開催されており、ビヨン・ダンカーベックやルアノ姉妹など世界チャンピオンを輩出したウィンドサーフィンのメッカ。

サーフィン、ウィンドサーフィン、カイトサーフィン、SUP の教室やショップのあるユースホテル、国際ウィンドサーフィンセンター(CENTRO INTERNACIONAL WINDSURF:CIW HOSTEL) (TEL:928/121400) (<http://pozo-ciwi.com>)の他、複数のサーフィンスクール等がある。

XII. 祝祭日

2022 年におけるラスパルマスデグランカナリア市の祝祭日は次の通りである。

1 月 1 日(金) 元旦(AÑO NUEVO)

1 月 6 日(木) 主顕節の日(EPIFANIA DEL SEÑOR)

3 月 1 日(火) 謝肉祭(MARTES DE CARNAVAL)

4 月 14 日(木) 聖木曜日(JUEVES SANTO)
4 月 15 日(金) 聖金曜日(VIERNES SANTO)
5 月 30 日(月) カナリアの日(DÍA DE CANARIAS)
6 月 24 日(金) ラスパルマス市設立記念日 (FUNDACIÓN DE LAS PALMAS)
8 月 15 日(月) 聖母被昇天(ASUNCIÓN DE LA VIRGEN)
9 月 8 日(木) 聖母ピノの日 (DÍA DE NUESTRA SEÑORA DEL PINO)
10 月 12 日(水) 国祭日(DÍA DE LA HISPANIDAD)
11 月 1 日(火) 諸聖人の日(DÍA DE TODOS LOS SANTOS)
12 月 6 日(火) スペイン憲法記念日(DÍA DE LA CONSTITUCION)
12 月 8 日(木) 聖母受胎告知の日(DÍA DE LA INMACURADA CONCEPCIÓN)
12 月 26 日(月) クリスマス(NATIVIDAD DE SEÑOR)の振替休日

別紙1

主 要 連 絡 先

在ラスパルマス領事事務所

TEL:928-244012 / 928-243466

FAX:928-297290

住所:C/ Triana、120 3ª Planta Izquierda 35002 Las Palmas de Gran Canaria

E-MAIL: CONJAPAN@md.mofa.go.jp

開館時間: 8:30~12:30、13:30~16:30 (7-8 月は、8:30~15:30)

窓口受付: 9:00~12:00、14:00~16:00 (7-8 月は、9:00~15:00)

(*)上記開館時間以外は、事務所電話にて、自動音声による緊急電話番号の案内をしています。

緊急電話

・緊急(警察・消防・救急全てを含む):112(西・英・独・仏・伊語で対応)

・警察:

国家警察(Policía Nacional) : 091 / 928-304600

: 902-102112 (9:00-21:00 は西・英・独・仏・伊語で対応)

治安警察(Guardia Civil) : 062 / 928-320400

市警察(Policía Local) : 092

・電話番号案内 : 11811

医療機関(各医療機関とも 24 時間態勢、入院設備有り。)

・ラスパルマス・デ・グラン・カナリア市内

(公立病院)

ドクトル・ネグリン大学病院(Hospital Universitario Doctor Negrín) : 928-450000

ヘリポート、最新設備を備えた県内最大の総合病院

インスラル - マテルノ・インファンティル総合医療施設(Complejo Hospitalario

Universitario Insular - Materno Infantil) : 928-444000

一般病院(Hospital Universitario Insular)と、産婦人科・小児科専門病院(Hospital Materno Infantil)の 2 棟からなる。

(私立)

サンタカタリナ病院 (Hospital Vithas Santa Catalina) : 902-297151

ペルペトゥオ・ソコーロ病院(Hospital Nuestra Sra. de Perpetuo Socorro) : 928-499900

サンロケ病院(Hospital Universitario San Roque) : 928-404040

・島南部

(私立)

サンロケ・マスパロマス病院(Hospital Universitario San Roque Maspalomas) : 928-404142
オスピテン・クリニカ・ロカ病院(Hospiten Clínica Roca San Agustín) : 928-769004

国際電話の呼び出し

00－国番号(日本は 81)－都市番号(最初の 0 をとる)－相手先番号
KDDI ジャパンダイレクト(オペレーターを通したコレクトコール)アクセス番号 : 900-99-0981
同スーパージャパンダイレクト(クレジットカード払いのダイヤル通話)アクセス番号 : 900-98-0981

その他

・グランカナリア島観光案内所

LAS PALMAS(C/ TRIANA、93)	928-219600
PLAYA DEL INGLES	928-771550
(CENTRO COMERCIAL YUMBO)	

・ラスパルマスデグランカナリア市観光案内所	http://lpavisit.com/en/
PARQUE SANTA CATALINA	928-446824
PARQUE SAN TELMO	〃
LAS CANTERAS (HOTEL CRISTINA 前)	〃

・無線タクシー

LAS PALMAS を含む島北部	928-460000 http://taragranca.org/
空港を含む TELDE 市及び島南部	928-154777 https://www.socomtaxi.com/

・空港

インフォメーション	http://www.aena.es/es/gran-canaria.html 91-3210000 / 928-579094 / 928-579095
遺失物	空港 2 階の Oficina de Objetos Perdidos、または メールで lpa.operdidos@aena.es へ問い合わせ
タクシー	928-574556
レンタカー(空港内)	(HERTZ) 902-879577 (CICAR) 928-822900

・航空会社

IBERIA 航空	https://www.iberia.com/ 91-236568 (予約・インフォメーション) 901-111342 (スーツケース紛失)
IBERIA EXPRESS	https://www.iberiaexpress.com/en

	900-424424 (予約・インフォメーション)
	900-111342 (スーツケース紛失)
AIR EUROPA 航空	https://www.aireuropa.com/es/vuelos
	911-401501 (予約・インフォメーション)
	911-360190 (スーツケース紛失)
BINTER CANARIAS 航空	https://www.bintercanarias.com/eng
	902-391392 (予約・インフォメーション)
	900-105190 (スーツケース紛失)
RYANAIR	https://www.ryanair.com/es/es/
	902-051292 (予約・インフォメーション)
	928-579311 (スーツケース紛失)
・フェリー会社	
FRED OLSEN	https://www.fredolsen.es/es
	922-290070, 928-290070(8:00-20:00)
NAVIERA ARMAS	http://www.navieraarmas.com
	902-456500 (コールセンター)
・市バス(GUAGUA MUNICIPAL)	https://www.guaguas.com/
	902-077778 / 928-305800 (月-金 07:30-14:30)
サンテルモ公園バス駅	928-368335
	(月-金 7:00-20:00、土・日・祝 8:00-13:00)
・市外バス(GLOBAL)	https://www.guaguasglobal.com/
	928-252630
	(月-金 8:00~21:00、土・日・祝 9:00~15:00)